イントロダクション

守衛は彼女を上から下まで見回すと、合い言葉を口にした。 「象は五回いななく。」

チームは数キロ先でその声を聞いている。君はそれを素早く 解読し、正しい回答をエージェントのイヤピースに送り込んだ。 彼女は微笑む。「狐の毛皮はボロボロよ。」 守衛はうなずくとドアの鍵を開いた。

イニシアティブ』と呼ばれる秘密組織の暗号解読 班になります。ゲーム中、あなたたちは協力して、 キーワードや暗号を解読します。暗号を解読できた場合、全員が勝利します。

LLJUDE

-ドの見た目は



プレイヤー色の選択: 各プレイヤーは人物カードを1枚選び、対応するスタン ドを確保します。プレイヤーが4人未満の場合、各プレイヤーは人物を1人 のみ使用し、使用しないカードは箱に戻します。





ミッションとゲームボードの準備:最初のゲームでは、「ミッション1」(数 字の1が左上に書かれたミッションカード)を使用します。そのミッション カードを確保し、反対面を見ないように裏向きに(下図のように)テーブ ルに置きます。ゲームボードを、カードに指定された面が表になるように 置いてください。

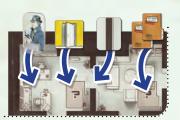


手がかりトークンのシャッフル:茶色の手がかりトークンをすべて裏向き にして混ぜ合わせます。他の色つきの手がかりトークンは、当面は箱に戻 しておいてください。



手がかり、設備、スタンドの配置:手がかりトークンを裏向きに(表を見ず に)、ゲームボード上にミッションカードで指定された数ずつ、各部屋に重 ねて置きます。さらに、カードの上側に指定された設備トークンを、ボード 上の指定位置に置きます。その後、各プレイヤーはスタンドを入口の設備 トークンのある部屋に置きます。





ミッションコンソールの準備:ミッションコンソールのすべてのタブを**下げ** ます。その後、コンソールをテーブルに置き、ミッションカードの裏を見な いまま、それを下図のようにコンソールに差し込みます。その後、ミッショ ンコンソールを立てて、ゲームボードの脇に置きます。





アクションカードの準備:4枚の(茶色の) アクションカードをゲームボードの脇に並 べます。「捨て札パイル」カードをその隣 に置き、その上に時間(⑤)カードを4枚置 きます。







リソースデッキの準備:残り36枚のリソースカードをシャッフルし、リソース の山札とします。それを裏向きに、全員の手の届く場所に置いてください。 各プレイヤーは山札からカードを4枚ずつ引き、自分の手札とします。



箱に戻しておくこと。

ゲーム進行



準備ができたら、自主的に宣言したいずれかのプレイヤーが最初のターンを開始します。手札のカードの値が低いプレイヤーから始めるのがいいでしょう。 ターン中、プレイヤーは以下のステップを行います。

- 1. アクションを1回か2回実行する。
- 2. 手札のカードが4枚になるまで、リソースの山札からカードを引く。

その後、左隣のプレイヤーのターンになり、同様のステップを実行します。 これをゲームに勝利するか敗北するまで続けます。

アクションの実行

ゲームに勝利するには、ボード上を移動して手がかりトークンを集める必要があります。手がかりトークンを十分確保できたら、勝利のためのミッションカードの解読を試みることができます(後述)。

ターン中、プレイヤーはアクションを1回か2回実行します。アクションを実行する場合、4枚あるアクションカードのいずれかに、手札のリソースカードを1枚プレイしてください。その後、そのアクションカードの能力を解決します。通常、ターン中には1回のアクションを(その能力が何の効果も無いとしても)実行する義務があります(詳細は後述)。

重要:アクションカードにプレイするリソースカードは、そのアクションカード上の一番上に置かれているリソースカードの値よりも**高い値**である必要があります。カードのスート(色)は関係がありませんが、後のミッションではスートが意味を持つ場合があります。



戦略的ヒント: リソースカードをどこにプレイするかは、ゲームの成否を決める重要なポイントです。アクションカードに値の大きいリソースカードをプレイしてしまうと、そのアクションにさらにカードをプレイすることが難しくなります。 最終的には「再編成」アクションを実行してリソースカードを捨てる必要が出てくるでしょう。「再編成」アクションでは自身のカードを捨てられない点に注意してください。

後、そのアクションカードの能力を解決する。

特殊アクション

アクションとして、自分の人物カードの特殊アクションを使用できます。その場合、手札のカードを2枚捨てる必要があります(表向きに捨て札バイルに置いてください)。その後、自分の人物カードの能力を解決します。



特殊アクション アイコン

望むなら、自分の2回のアクションの両方で特殊アクションを 実行できます。その場合、結果として手札を4枚捨てることになります。

会話

各自の手札のリソースカードは**自分のみ**が見ることができます。手札のカードの 内容を相談してもかまいませんが、その実際の値が分かるような情報を**話すこと はできません**。例えば、「大きめのカードが3枚ある」ことは話せますが、「12が 1枚ある」ことは**話せません**。

移動



「移動」アクションを実行することで、部屋の移動が3回まで行えます。1回の移動では、自分の人物を現在の部屋から (通路で繋がった) 隣の部屋に動かすことができます (下図参照)。



青のプレイヤーがいる部屋は、他の2つの部屋と隣り合っている。

壁と通路

各部屋は壁や通路で囲まれています。準備中、ゲームボード上の一部の通路に壁トークンを置く、あるいは一部の壁に通路トークンを置く指示があることがあります。



ボードに印刷されているものやトークンを含め、壁を通過することはできません。

壁トークン

近隣

一部の能力は**「近隣」**にある何かを参照します。何かが「近隣」にあるとは、**その部屋自身**かその隣の部屋にあることを意味します。

手がかりの公開



部屋の手がかりトークンの情報を得るには、「諜報」アクションが最も簡単な手段で、それにより移動の方針を決めることができます。「諜報」により、**任意の部屋**にある手がかりトークンを、**1個ずつ**順に2個まで公開できます。両方の手がかりは同一の部屋にある必要がありますが、人物がその部屋にいる必要はありません。

手がかりトークンを公開する場合、その部屋の一番上の手がかりトークンを取り、それを表向きにし、裏向きのトークンの隣に置きます。 ミッションカードに無い記号が公開された場合、(ボード上がちらかるのを防ぐために)ゲームボードから取り除いてかまいません。



プレイヤーは手がかりトークンを 1個公開した。諜報アクションを実 行する場合、その後にその部屋の 2個目の手がかりトークンを 公開できる。

君たちにはサブライズを準備しているが、 秘密カードは指示があるまで読まないこと。

手がかりの回収



ミッションカードを解読して勝利するためには、ボード上のトークンを回収する 必要があります。「回収」アクションカードにより、**自分がいる部屋**にある手がか りトークンを、**1個ず**つ順に2個まで取ることができます。

自分が現在いる部屋に記号(黒のシンボル)が描かれた表向きの手がかりトー クンがある場合にかぎり、その手がかりトークンを取ることができます。そのト ークンをゲームボードから取り除き、その記号に対応するミッションコンソール のタブをすべて上に倒します。



一 のトークンを回収 したら、ご の記号の下の すべてのタブを開ける。

回収の際、表向きのトークンの代わりに、自分のいる部屋の一番上の裏向きの トークンを取ることができます。そのトークンを公開してください(表向きにし てその部屋に置く)。それが記号であれば、ただちに前述の通りに取ることがで

一部の記号は、その下に *** や へ が描かれています。 このアイコンは効 果がありませんが、後のミッションで参照されることがあります。

戦略的ヒント: ミッションカードに特定の記号が複数ある場合、その記号は すべて同じ文字や数を意味します。

一部の手がかりトークンは記号ではなく罠です。罠はそれぞれマイナスの効果が あります。

背景が茶色の罠は公開された部屋に残ります。背景が黄色の罠は公開時にただ ちに効果を発生させ、その後ゲームボードから取り除きます。



監視カメラ: その部屋に置きます。プレイヤーのターンの終了 時、そのプレイヤーの部屋にある監視カメラ1つにつき、(プレ イヤーがカードを引く前に) リソースの山札の一番上のカードを 1枚捨てます。



ガス:公開時、その部屋にいる各プレイヤーは、(可能なら)手 札のカードを1枚ランダムに選んで捨てます。その分のカードの 補充は、通常のルールに従い自分のターンの終了まで行われま せん。このトークンは捨てます。



逆探知:諜報アクションでこれを公開した場合、このトークンを アイコンが一致するアクションカードの上に置きます。他のアク ションで公開した場合は、アクションカードには置かずに単に捨

逆探知トークンがあるアクションカードには、リソースカードは プレイできません。このトークンは「再編成」アクションカード で捨てることができます。

THE REAL PROPERTY OF THE PERSON NAMED IN

罠は記号ではなく、回収できません。

アクションの実行中に罠を公開した場合、その罠の能力を(必要なら)解決した 上で、アクションの続きを解決します。



ゲームの目的は、ミッションカードの一番上に書かれた質問に答えることです。



ミッションカードの質問

任意の時点で、プレイヤーは全員で合意の上でミッションの解答を試みることが できます。その場合、単に解答を宣言し、ミッションカードをミッションコンソー ルから取り出します。解答が完全に一致する場合、あなたたちの勝利です!

解答の文字や数字が1つでも間違っていた場合、あなたたちは敗北します。

形数にかかわらず、ゲームの終了後はキャンペーン 記録表を参照し、次に何を行うかを確認すること。 ミッションのやり直しは認められない。

一部のミッションには、「答」と書かれた灰色のエリアがあります。そのミッショ ンでは、勝利のためにはその「答」の下に書かれた情報のみを当てれば十分で す。答えは文字や数字や文章の可能性があります。

いずれかのプレイヤーがミッションの解答に反対の場合、解答を試みることはで きません。

戦略的ヒント: ミッションの解答のために、筆記用具を使用することを推奨 します。また、ミッションコンソールはターンプレイヤーの前に置き、内容が 確認できるようにするといいでしょう。

カード切れ

ミッションの解読に時間がかかりすぎると、ゲームに敗北します。

ゲーム開始時、捨て札パイルには時間カードが4枚置かれています。リソースの 山札のカードが無くなった場合、捨て札パイルカードを裏返して「危機的状況」 の面にします。その後、時間カードを含む捨て札パイル上のすべてのカードをシ ャッフルし、裏向きにして新たなリソースの山札とします。

カードを引く途中でこれが発生した場合、山札を作り直した上で、(望むなら) 続きのカードを引いてください。

時間カード (②) を引くたび、**ただちにそれを捨てます**。その上で、新たにカードを 引きなおすことが選べます。危機的状況で捨て札の時間カードが3枚以上になっ た場合、ゲームは敗北になります。そうなった場合、答を当てる機会は与えられま せん。

時間カードの中にはアイコンが2つある物があります。このカードは時間カード 2枚分に数えます(下図)。



アイコン2つの時間カードが捨て札パイ ルにある。時間カードをもう1枚引いた ら、プレイヤーはゲームに敗北する。

時間カードは捨て札パイルのなかで ずらして置き、アイコンが見えるように すること(図参照)。

ターン終了時にカードを引くことは通常は強制ですが、危機的状況ではこれは (手札のカードがO枚であっても) 任意になります。カードは1枚ずつ引き、 任意の時点で止めることができます。

戦略的ヒント: 危機的状況では、必要でないかぎりカードは引かない方が いいでしょう。捨て札パイルに時間カードがあるならなおさらです。カードを 1枚引いてしまったことで負ける可能性が出てきます。

危機的状況では、強制的にターンを飛ばされることがありえます。通常、ターン中 には最低1アクション(アクションカードか人物の特殊アクション)を(効果が無 くても)実行する義務があります。ただし、アクションをまったく実行できない 場合、ターンは飛ばされます。これは、手札にカードが無いか、手札のカードが 1枚だけでアクションカードにプレイができない場合に起こりえます。パスを強 制された場合、望むならカードを引き、次のプレイヤーのターンに進みます。

ルールが抜けているように見えるが、落ち着くこと。 すべてはやがて明らかになる。

ターンの例

青のプレイヤーのターン。彼はこのターンに移動を行うべきかを判断するために、諜報アクション を実行することにした。

- 1. 諜報アクションカード上の一番上のカードは4なので、1や3はプレイできない。彼はその上に 6をプレイすることにした。
- 2. 諜報アクションカードの能力を解決し、部屋を1つ選んでそこの手がかりトークンを1個ずつ、 2個公開した。その後、そのトークンは表向きに部屋に置く。※の記号はミッションカードにな いため、ゲームボードから取り除く。
- 3. 2つ目のアクションとして、彼は自分のいる部屋の裏向きの手がかりトークンを取ることにし た。彼は1のカードを回収アクションカードにプレイした。
- 4. 彼のいる部屋の一番上の手がかりトークン(のみ)を公開する。この記号(%)はミッションカードに あるため、トークンを回収する。そのトークンをゲームボードから取り除き、ミッションコンソールのな の記号のタブをすべて上に倒す。

青のプレイヤーは2アクションを実行したので、リソースカードを2枚引いてターンを終える。次は左隣の プレイヤーのターンになる。

